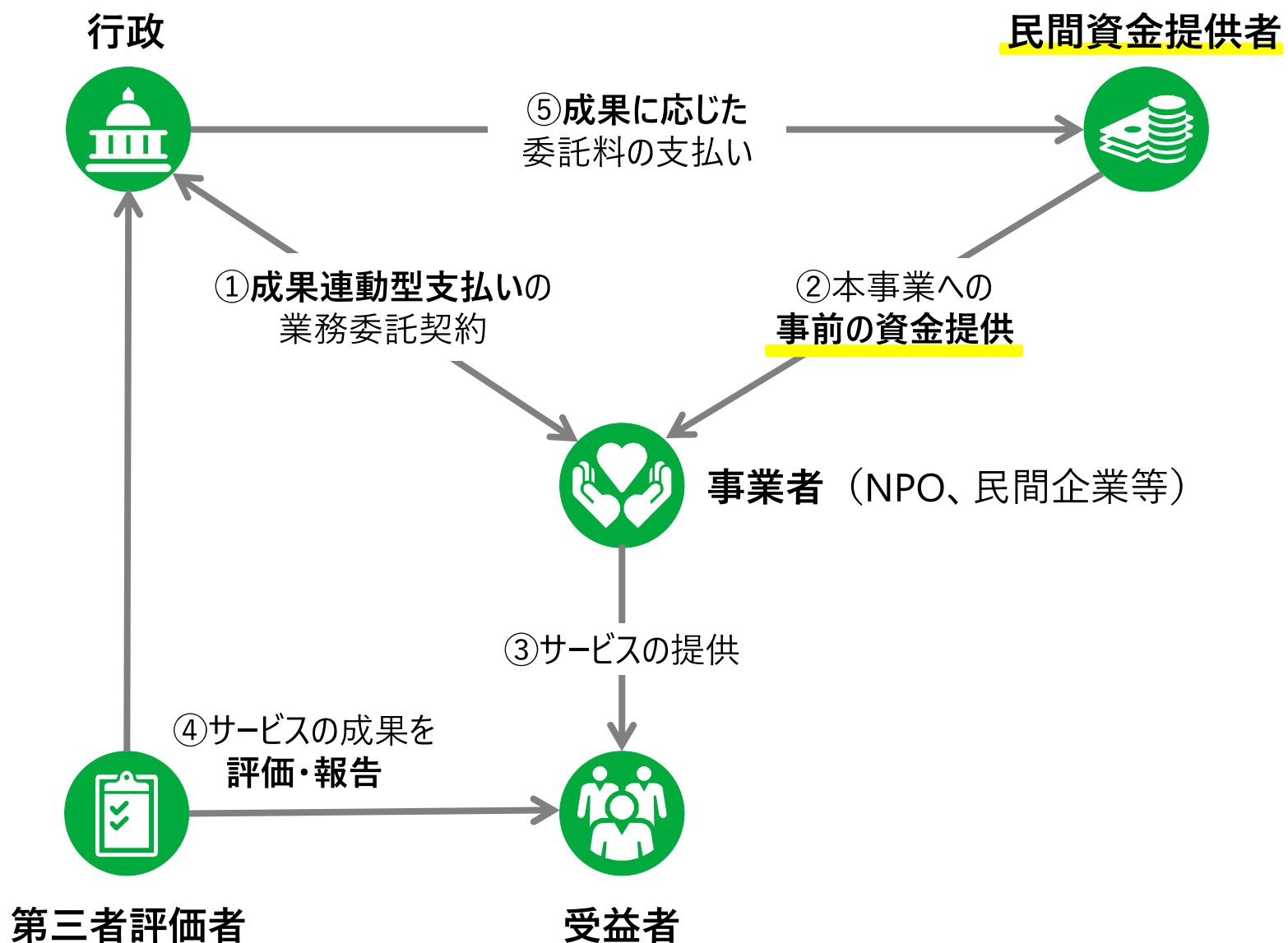


**まちづくり✖SIB  
～3つの価値を創出する新しいまちづくり～**

**社会変革推進財団（SIIF）  
専務理事 青柳光昌**

2021年3月4日

# 民間資金を活用した成果連動型業務委託 = SIB



## PFS/SIB導入の意義

- 意義1** 行政にとっての**財政的なリスクを抑えながら**、民間の新しい取組みを活用できる  
——→ **新しいサービスの試行**
- 意義2** 関係者が成果指標を共有し成果が可視化されることで、サービスの質の向上、成果の向上につながる  
——→ **既存サービスの改善**
- 意義3** 成果を基準に委託料を支払うことで、信頼性が高く成果を生み出す力のある事業者の成長につながる  
——→ **優良な民間事業者の育成**

## SIB導入の意義 - 民間資金の調達

### 1 資金提供者の モニタリング

民間資金提供者もモニタリングに関与するため、事業に規律が生まれやすくなる

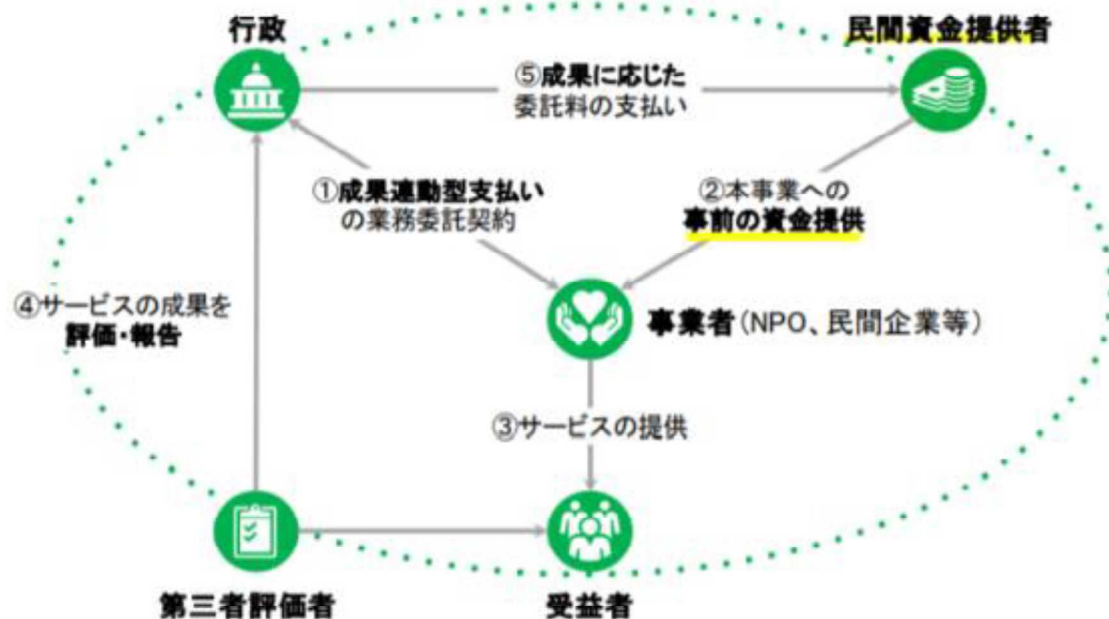
### 2 地域内の 関係性の 深まり

案件組成や管理の過程を通じ、資金提供者を含め関係者による地域の課題が共有される。

関係性も深まる（ソーシャルキャピタルが増進）

（例）

- 行政と市民の課題の共有
- 個人投資家による民間事業者の応援
- 民間事業者と地域金融機関の関係の深化→金融機関の役割の再定義



## 資金提供者が参加する方法と課題

### 方法

資金の性質やリスク分担の在り方によって、様々な参加方法がある  
～出資（エクイティ）・融資（デット）など

### 課題

SIB自体がまだ難しいスキームであるなかで・・・  
規模感、目標設定、支払いの優先順位、などのルール（契約条件）をステークホルダーとの間できめ細かく対話を重ねていく必要がある。

## 課題が多いのはポテンシャルの高さの裏付け？

### PFS/SIB由来の追加コスト

- ・ 成果報酬分の上乗せ
- ・ 第三者評価機関
- ・ 中間支援組織の費用
- ・ ファイナンススキーム諸費用

### 予算の単年度主義

#### 公募方法

- ・ 債務負担行為のハードル
- ・ 公募方法と提示条件

### 「複雑なスキームですね！」

- ・ 自治体・事業者の理解・ノウハウ不足
- ・ 定型化していなく煩雑

### エビデンスの不足

- ・ プログラムセオリー、成果指標や支払い条件の妥当性
- ・ 評価の質  
(デザイン、データ収集)

### 資金調達が容易でない

- ・ インパクト投資の普及促進
- ・ 規模が限定的（自治体の予算枠）
- ・ リスク/リターンのバランス